

(六) 総選挙対策の件

第一章 選挙戦に参加する意義並に我等の態度

一、
 フル政党の態度
 氏政党は大衆を偽瞞して議院内に絶対多数を確保して現政府の
 礎を固め以て大金融アルジヨアの全解禁後に於ける諸政策即ち
 産業合理化政策の徹底的遂行並に国内國際の諸問題につき帝國主
 義的政策の遂行を内着ならしめんとして選挙に臨み、政友会は全
 じく大衆を偽瞞して現在の議院内の絶対多数を占め以て次の政權
 にありつかんとするものであつて、大金融資本の利益を代表し無産
 階級の進出を弾圧せんとするものであるに於ては両党の間は何
 等本質的差異はない。従つて選挙戦に於けるフル政党間の対立は
 その表面上の猛烈さにも拘らず、実は何等本質的意味を持つてお
 るものではない。彼等はやかた近き將來に於て彼等の戦線を統一
 して、露骨に無産階級に對立するに至るに相違ないであつて、
 現在でも「フル戦線統一」の聲は隨所に響けり北てある。かくし
 て彼等は、来るべき選挙戦に於ても、我々との間の階級的對立の
 前には、わけもなく彼等と間の對立を抹消して、我々に鋭く對立
 するであらう。

二、
 社会民主主義政党的態度
 社会民主主義政党的態度、日本大衆党等々の如き社会民主主義諸政党的幹部は